

経営・ESG

サプライチェーン

2024年3月8日

## パナソニック コネクト、物流倉庫内の効率化を目的に ラピュタロボティクスと業務提携を開始



パナソニック コネクト株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 執行役員 プレジデント・CEO:樋口 泰行)は、クラウドロボティクスプラットフォームを提供するラピュタロボティクス株式会社(東京都江東区、代表取締役 CEO:モーハナラージャー・ガジャン、以下ラピュタロボティクス)とこの度、物流倉庫内の効率化を目的に、業務提携を開始しました。

当社では、物流業界の真の課題であるトラックの荷待ち時間を大幅に削減するオープンプラットフォーム「タスク最適化エンジン(仮称)」<sup>注1</sup>を開発、このシステムを通じて利用可能なロボティクス技術を擁する企業との提携を拡大することを目指しています。ラピュタロボティクスは、その1社目のパートナーです。

本提携により、当社のタスク最適化エンジン(仮称)およびロボット制御プラットフォーム<sup>注1</sup>と、出荷頻度が高く複雑な入出荷業務にも適用可能なラピュタロボティクスの自動倉庫「ラピュタ ASRS」を連携させることで、物流現場におけるピッキング作業の効率化が実現します。

物流倉庫では、後でトラックに載せるものが先に出てしまうなどの順序不同が起りやすく、荷待ち時間の発生や現場を混乱させる原因となっています。タスク最適化エンジン(仮称)は、タスクのシフト計画やピッキング手順の最適な割り当てを行い、出荷(トラックに載せる)される順番にラピュタ ASRS より出荷が行われるようデータ連携を行います。人やロボットハンドはこれに合わせて作業を行うため、トラックの出発時間に合わせて出荷が行われることを目指しています。

ラピュタロボティクスの代表取締役 CEO、モーハナラージャー・ガジャン氏は、次のように述べています。「この度の業務提携について大変嬉しく思っております。パナソニック コネクト様のパーパス『現場から社会を動かし 未来へつなぐ』は、私たちラピュタロボティクスのパーパス『マシンとマシンを繋げ、人々の生活を豊かにする。』にも通じ、共感するものがあります。「きつい」「汚い」「危険」な仕事は自動化され、人々がより知的で創造的な仕事にチャレンジできる選択肢を与えられるべきだと強く信じています。その

ために、パナソニック コネクト様と良いシナジーを生み出し、物流におけるさまざまな課題解決に向けて取り組んでまいります。」

当社 CTO、榊原彰は、次のように述べています。「クラウドロボティクスプラットフォームを提供するラピュタロボティクス様と共に日本のサプライチェーンの非常に大きな課題、庫内作業の効率化やトラックの荷待ち時間の解決に向けて開発に取り組めることを大変光栄に思います。ラピュタロボティクス様はすでに業界でも確固たる地位を築かれ、非常に優れた技術を保有されていますが、両社が持つ技術や知見を掛け合わせて、サプライチェーンにおける様々な社会課題を解決していきたいと考えています。」

今後、ラピュタロボティクスと当社は、両社の事業拡大を目指しプロジェクトを展開していくことを予定しています。また、ラピュタロボティクスの保有する複数のロボットに対する群制御技術と、当社の持つインダストリアルエンジニアリング<sup>注2</sup>の知見、ロボティクス関連技術とを組み合わせ、人とロボットが協調して動作するソリューションを実現するために必要な技術開発に共に取り組んでいきます。

自動倉庫「ラピュタ ASRS」の特長は以下のとおりです。

#### 1. 圧倒的な生産性を実現

群制御技術を用いて、複数のロボットが協調制御され、縦横無尽に動きピッキングステーションに順次到着します。このような同時作業可能な構造のピッキングステーションは前例がなく、作業者は完全歩行レスで作業を繰り返すことができ、大幅な作業時間の短縮が可能になります。

#### 2. どんな倉庫にも導入可能(※)

枠組はシンプルな3つの部材のみを使用しており、自由な組み上げが可能なためあらゆる倉庫の形・大きさに対応いたします。ネジを必要としない軽くて丈夫な部材であるため、導入期間とコストを抑えることも可能です。(※) 法令等により導入規模の制限を受ける場合があります。

#### 3. 導入後のレイアウト変更も可能

導入後も需要に合わせたレイアウト変更や倉庫の拡張・ロボットの追加が可能です。さらに、生産性と保管効率のバランスを自由に変えることも可能です。

自動倉庫「ラピュタ ASRS」の詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.rapyuta-robotics.com/ja/solutions-asrs/>

注1: 当社の「タスク最適化エンジン(仮称)」、「ロボット制御プラットフォーム」についてはパナソニック コネクトの Newsroom をご覧ください。<https://connect.panasonic.com/jp-ja/newsroom>

なお、タスク最適化エンジン(仮称)は、現在、技術開発中のもので13件特許出願中です。またロボット制御プラットフォームも、現在、技術開発中のもので17件特許出願中です。商用提供開始の際は改めてお知らせいたします。

注2: 当社インダストリアルエンジニアリングの特長は、現場の作業を可視化し、各作業の標準値をものさしとして設定し、実作業とのギャップの原因を特定し、改善を繰り返し実行していくことです。継続的な現場改善による最適化を行うことで経営に貢献します。

【本件のお問い合わせ先】パナソニック コネクト PR 担当 Email: [connect\\_pr@ml.jp.panasonic.com](mailto:connect_pr@ml.jp.panasonic.com)

#### 【ラピュタロボティクス株式会社について】

ラピュタロボティクスは、アインシュタインをはじめ、数々の著名研究者を輩出しているチューリッヒ工科大学 (ETH Zürich) 発のベンチャー企業です。「ロボットを便利で身近に」(Making robotics attainable and useful for anyone)をビジョンに掲げ、世界でも最先端の制御技術および人工知能技術を活用した次世代クラウドロボティクスプラットフォームの開発と、ロボットソリューションの開発・導入・運用支援を行っています。世界 30 カ国以上から結集した、高い開発技術力を誇る優秀なエンジニアとバイリンガルでロボティクスに精通した営業チーム、カスタマーサクセスチームのタッグにより、お客様に最適なソリューションをご提案します。

#### 【パナソニック コネクト株式会社について】

パナソニック コネクト株式会社は 2022 年 4 月 1 日、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い発足した、B2B ソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約 29,500 名の従業員を擁し、売上高は 1 兆 1,257 億円(2022 年度売上高)を計上しています。「現場から 社会を動かし 未来へつなぐ」をパーパス(企業としての存在意義)として掲げ、製造業 100 年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベーションすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことのできる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

#### ■人権の尊重と企業価値の向上に向けて

パナソニック コネクトは、「人権の尊重」と「企業価値の向上」を目的に、DEI(Diversity, Equity & Inclusion) 推進を経営戦略の柱のひとつと位置づけ、多様な価値観を持つ一人ひとりがイキイキと力を発揮できる柔軟性の高いカルチャーを目指しています。

「少数であること」やその他の理由で権利が守られていない状況に対しては、妥協できない「人権」の問題として取り組みます。

例えば、2016 年、国内の人事制度運用上の配偶者に「(同性婚も含む)事実婚を結婚したものと同等に取り扱う」ことを発信するなど、家族の在り方の多様化に対応しています。

#### ▼その他の取り組みについてはこちら

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/about/sustainability/dei/lgbtq>



#### ▼パナソニック コネクト株式会社 ウェブサイト

<https://connect.panasonic.com>

#### ▼パナソニック コネクト Newsroom

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/newsroom>